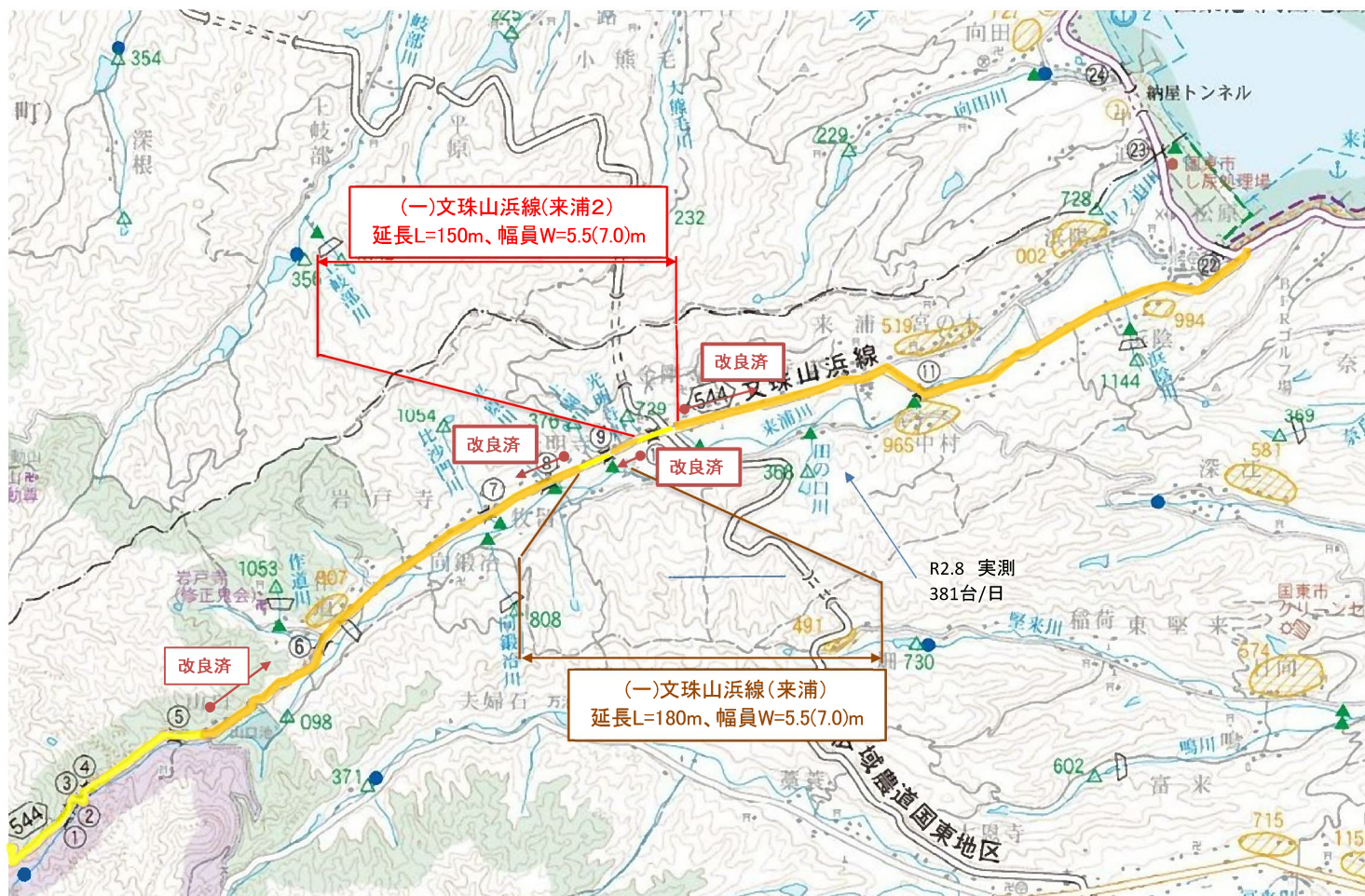


事前評価書

		年度	R3
		整理番号	
事業名・路線名等	道路改良事業 一般県道 <small>もんじゅさんほま</small> 文珠山浜線(来浦2工区)		事業主体
所在地	<small>くのうら</small> 国東市国東町来浦		
事業概要	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域道路ネットワークの充実(沿線住宅地の道路整備完了)及び安全性・走行性の向上 ・観光施設へのアクセス機能の向上 	
	事業内容	【計画延長・幅員】 L=150m(現拡) W=5.5(7.0)m 【道路区分】 第3種第4級 【設計速度】 V=40km/h 【計画交通量】 391台/日 【現況幅員・交通量】 W=4.2(5.2)m(最小) 交通量 381台/24h(R2.8実測)	
	事業費	C=80百万円	
事業の実施計画	完成予定年	着手から4年(令和7年度)	
	事業段階毎の実施計画	1年目 測量、道路詳細設計 2年目 用地測量 3年目 用地補償 4年目 道路工事	
事業の必要性	必要性・緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ・来浦地区を含む地域住民の生活道路であるとともに、国東市から文珠山寺、両子寺等六郷満山文化の寺院群へ接続する観光道路であるが、道路幅員が狭く交通の安全性が確保されていない。 ・国道213号から両子山間の平地部において本事業区間を除き道路改良が完了している。 	
	整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性、走行性の向上。 ○地域道路ネットワークの充実(沿線住宅地の整備完了) ・六郷満山文化の寺院群の観光施設へのアクセス機能の向上。 ○おんせん県おおいたのツーリズム支援 	
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	幅員狭小区間の解消(一次改築)であり、防災面・交通安全の観点からも評価(参考B/C≒0.4)	
	工法の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路法、道路構造令等に適合した工法を採用 ・現道拡幅案とし、2案比較により最も経済的なルートとする。 	
	コスト縮減	・アスファルト、コンクリート、砕石は再生資材を利用する。	
	環境等への配慮	・地形改変による影響が少ない計画としている。	
事業実施環境	事業の実効性	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの要望あり ・地権者からの用地協力の意向確認済み 	
	事業の成立性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路法第15条に基づき、安全かつ円滑な交通を確保できる構造とすべく事業を実施 ・「安心・活力・発展プラン2015(2020改訂版)」、「おおいた土木未来プラン2015(改訂)」、「大分県長期道路整備計画『おおいたの道構想2015』」に基づき事業実施 	
	事業の特殊性	・特になし	
対応方針	・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。		

事業箇所位置図



凡例	
改良済	改良済
未改良	未改良